

2021年度 第42回 大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門
アナウンス部門 結果・講評一覧

番号	評価	講評など
----	----	------

【審査員】

仲山 豊秋	元NHK大阪放送局（主審）
西田 恵二	府立泉北高等学校長
秋本 みゆき	大阪市立高等学校
伊藤 元也	四天王寺東高等学校
内野 洋子	プール学院高等学校
竹中 泰子	相愛高等学校
山本 武彦	浪速高等学校
安田 知博	放送部インストラクター
清水 明澄	宣真高等学校（計時・原稿チェック）

8人の審査員が100点満点で採点し、合計800点で評価しました。

その上で、規定違反(原稿通り読めていない等)について減点しました。

その得点を基準として、上位3位を優秀賞、続く6人を奨励賞としました。

また、入賞まで30点以内をA評価、60点以内をB評価、それ以降をC評価としています。

審査員からいただいたコメントをまとめ、「講評など」として掲載しています。

※ 審査番号順に掲載しています。

個人情報保護のため、学校名・名前の掲載は控えさせていただきます。

大阪府高等学校視聴覚教育研究会 放送コンテスト委員会

2021年度 第42回 大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門
アナウンス部門 結果・講評一覧

番号	評価	講評など
1		欠席
2		欠席
3	B	身近なテーマの方がよいです。名前がメインなのか、すべり台の傾斜がメインなのか分からないので、何を一番言いたいのか・伝えたいのかを考えてください。助詞が強く、サ行・ラ行が甘いです。力を抜いて自然な話しことばの呼吸を意識しましょう。文末が聞き取りにくいのが残念です。読み調子のアナウンスになっていて、すべて同じスピードなもの不自然ですが、声はいいものを持っています。間を工夫してください。積極的に話す心がけが好印象です。文末はもっと下がるはず。昔の名前は要らないのでは？限られた1分間に何を伝えるか選択が難しいですね。
4	C	リードが長すぎて何のニュースか伝わりません。原稿の作り方を研究すること。よく響く良い声ですが、語尾上げやぶつぶつ切れることが気になります。話すように、力を抜いた呼吸で、一息に読むようにしましょう。文の頭が強く、その後が弱くなっていて、文末が聞き取りにくい。また、発声にも物足りなさを感じます。腹から声を出すようにしましょう。ポーズ多用がリズム感を持っているのは良い点です。マイクが遠かったかもしれません。センテンスを短くする努力が必要です。一息で言えるような文を心がけて。意味のまとまりの途中で極端に下がったり息継ぎしたりしています。責任を持てる速度でアナウンスしてください。「ふせこーこ」になってました。
5	A	リードを工夫しましょう。内容が薄いので、もう少しつっこんだ取材ができれば良いです。一番伝えたいところはどこでしょうか？メインテーマが分かりにくい。良い声ですが、節がついていて、特に前半が歌っているようになっています。自然な読みをしようとしています。息が少し抜け気味で、やや暗く響いています。滑舌もやや甘い。内容を考えると、もっと明るくはじけたアナウンスでいいと思います。番号だけが不自然に低くなりました。「数々の苦難」のような抽象的な言葉は要らないと思います。今をどう乗り越えようとするのかを具体的に知りたかったです。「思い」に頼らず、事実を充実させて。
6	B	マンホールに着目した点はおもしろいですが、一文が長く、何を一番伝えたいのか分かりません。情報を整理してください。話し言葉の原稿にして、終わり方も工夫しましょう。落ち着いて読めていますが、明るい話題なので笑顔で読みましょう。声に力がなく、揺れています。腹から声を出してボリュームアップを図ることとプロミネンスの研究をしてください。声の幅を広げるともっと動きのあるアナウンスになります。「大阪…記念して」まで一息だと思えます。「大綱時代」という言葉は無いのでは？「作品」という言いにくい言葉を何度も使う必要はなかったと思えます。自分でしゃべるための原稿なので、自分がしゃべれる言葉で書いて。「貯め」など、連用終止(て抜き言葉)が話の流れを止めてしまっていると思えます。発音が不鮮明で聞き取れない言葉がありました。全ての音に責任を持って。
7	優秀	おいしい雰囲気がよく出ています。構成が分かりやすく、取材もよくできていますが、どんな味なのでしょう？これが一番知りたい(伝えたい)情報だと思えます。「ヒ」と「シ」が聞き取りにくいので注意してください。「～と思ったことが」でせり上がっています。声が弱い部分がありましたが、声の幅を広く使ったアナウンスができていて、自然な読みで語っているのが何よりも良い点です。意味のまとまりも考えて読めています。「…のできる」は、やや書き言葉か。しゃべる言葉に近づけて。マイクに近すぎて吹かれが起きていました。オーナーの名前が聞き取れない。同じようなことを複数回伝えていないか。
8	B	何を伝えたいのか、話題を絞り込んで原稿を作るようにしましょう。羽曳野市の話題であることも、もっと早めに伝えられるように構成を工夫してください。古墳の魅力をもう少し伝えて欲しかったです。語尾・文末が上がり、「～まあす」「～ですう」のような「語尾伸ばし」になっているのが気になります。全て同じ調子で発声やアクセントも甘い。もっと元気よく読めるように、声の力強さを身につけてください。「国内最大級の古墳です」でひと塊。行事が行司になってしまいました。オリジナルの取材をしたのかが見えないくらい内容でした。すでに広く知られている話題を選ぶ場合、新たな取材や独自の視点が必要です。つまり、楽なようで実はしんどいです。
9	C	看板についての話題は面白く、興味が湧きますが、アナウンスになるようにニュースの作り方を練習してください。しっかりと取材した原稿作りを意識しましょう。アクセントが関西アクセントで、読み調子です。また、声がうねっているため、発声・発音についてはまだまだ練習が必要です。「ーハ、ーハ、ーハ…」とポーズを置きすぎているため、センテンスの全体像がつかめず、伝わりにくくなっています。母音の発音を明瞭にしてください。去年の秋の話題を伝える必要性が分かりにくい。フグ提灯が今どうなってるかを伝えたいほうが、今聞くと放送として面白いと思えます。
10		欠席
11	A	描写の仕方は良いですが、一文が長いので、伝えるべき情報をしぼってください。やや早く、聞き手を置いていってしまっています。もっとゆっくりと、美しい光景が思い浮かぶようなスピードで読みましょう。画面大滝が聞き取りにくいのが残念です。母音の「オ」の連続に注意してください。比較的声の幅を広く使ったアナウンスが良いです。聞く相手を意識して、語りかける調子になるともっと点数がアップします。「何日から何日まで」という情報は、冒頭に知らせるべき情報ではないと思います。目で見るための報告書類と、耳(だけ)で聞く放送とは、情報の順番も変わります。「の開催となりました」のような書き言葉が邪魔です。意味の切れ目と音の切れ目が合わない箇所があります。他の(目で見るための)素材をリメイクしたような印象がありました。

2021年度 第42回 大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門
アナウンス部門 結果・講評一覧

番号	評価	講評など
12	B	花かフオトスポットか、何の紹介がメインなのか分かりません。伝える内容を整理して、原稿の作り方を練習してください。文を区切りすぎです。意味のかたまりを考えて、しっかり伝えるように読みましょう。一本調子に聞こえるのも原稿を読んでいるからです。普段の発声練習にもっとしっかり取り組んでください。声の「上ずり」「割れ」も気になりますが、もっと腹から声を出し切れれば解消できるはず。すでに終わったイベントの日付を、そんなに厳密に知らせなくていいのでは？ 音声だけで伝える場合、目で見て楽しむ植物の話題はかなり難しいですね。でも努力は分かりました。「来て」の使い方が正しくありません。自分がある場所に誰かを呼びたい場合や、自分が主宰するイベントなどに呼びたい場合にだけ「来て」を使うことができます。
13	奨励	取材はよくできていますが、リード文など、ニュース原稿の作り方を工夫しましょう。トマトジュースの話題ももっと早い段階で伝えましょう。やや息がもれ気味で、所々不鮮明な音があります。「食品ロス」が聞こえてきません。発声が高く、伝わりやすい良い声です。言葉が語りかける力を持っています。が、やや調子でリズムを取っているため、終わり高の傾向があります。文末はしっかり落としましょう。食品のことを「食品ロス」と呼ぶわけじゃないと思います。 「…のみを使用した」など、パンフレットからそのまま転用したような書き言葉が残念でした。話し言葉としては「…だけを使った」ですね。コメントの中身があまり有用ではないと思います。「愛され続けて」いくかどうかは誰にも分からないことでは？
14	A	何を一番伝えたいのか分かりません。竹細工もどんな物が気になります。聞き取りやすい良い声ですが、語尾上げに注意してください。声が少しうねるのが残念です。内容のかたまりを意識して間を作りましょう。もっと発音・発声の練習に取り組んで声の幅を広げてください。「一ハ、一ハ、一ハ…」と不要なポーズが多いため、一事象一音声表現になっていません。読みの調子を語りかけにしましょう。語尾伸び注意。「なられる」のような尊敬語はニュース文には要りません。「渡り」などの書き言葉(連用終止)が残念。竹細工教室の様子をもっと深く伝えたいところが面白くなると思います。今は開かれていなくても、昔の映像などで取材できますね。
15	優秀	よく取材できています。題材も面白く、興味の持てる内容です。構成もよく、内容がよく伝わってきました。落ち着いた響きのある、聞き取りやすい声ですが、「は」「も」などの助詞、「～さんは」のアクセントに注意して、一語一語をもっとクリアにしましょう。比較的声の幅が広く、いろいろな音声表現ができていますが、文の最後の音が落ちていないのが残念です。「福島区」「来て」の無声化を努力して、「働いているのは」でいいですね。「作る」が重なっています。「悩みを」など、下がり方が不十分な箇所があります。食堂の様子をもっと知りたいです。
16	奨励	取材はよくできていますが、内容がややNHK杯的です。地域の話題を選びましょう。何という行事なのか聞き取りにくかったです。キーワードで伝えられるように、長い文をもっと少し工夫して原稿を作りましょう。音取りが良く、まっすぐなアナウンスなのもプラスです。よく伝わる語りでした。ただ声の幅が狭いので良さが半減しています。プロミネンスの研究をして、声の幅が出せるように大きくしゃべってください。「聞き」のような書き言葉(連用終止)が残念です。「参加した生徒は」が最適かどうか。この話題を伝えるために新たにどんな取材をしたのかが見えにくい。今伝える価値があったかどうか。
17	B	内容は面白いのですが、少し詰め込みすぎです。「なにわべっこう」の何を伝えたいのか、リード文や構成を工夫しましょう。よく響く声ですが、ちょっと一本調子です。固有名詞は丁寧に読むようにしましょう。また、滑舌の悪さや語尾の「のび」「上がり」が気になります。所々音が不鮮明でした。話し言葉ではなく書き言葉の原稿で、完全に読み調子になっています。この人の喜びや驚きを感じられないのが残念です。マイクに近すぎました。「冒頭の数秒間が聞き取れませんでした。実物を見せずに声だけで伝えるのは、ちょっと難しい話題だと思えます。「ようしょくさんぎょう」とは？そういう言葉があるのですか？ 滑舌が追い付かない箇所がありました。全ての音に責任を持って。
18	奨励	マイクの位置を調節してから話しましょう。内容はしっかりしていて、聞き手に伝わる原稿になっていますが、途中、主語がないので誰の様子か分かりません。主催者の思いを深く取材して、稲刈り体験の様子をもっと生き生きと伝えて欲しかったです。落ち着いた読みですが、声にもっと力を込めて、元気の良さを出しましょう。平板でフラットなアナウンスになっています。高い所から落ちていくアナウンスをめざして下さい。マイクから遠すぎました。小学校の名前は無くてもいいかもしれませんが。「大きく」「嬉しそうに」など、無声化をあきらめないで。「次々と」だけが低いのは違和感があります。パーセンテージは要りますか？ 母音の発音がとこところ残念でした。
19	C	NHK杯的な内容で、郷土の話題としては微妙です。地域の話を取り上げて、ニュース文の作り方を練習してください。私服登校推進のための文に聞こえてしまいます。聞き取りやすく、落ち着いた響く声ですが、少し「語尾のび」があるのが気になります。「一ハ、一ハ、一ハ…」と切れていて、アナウンスにかたまり感がないため、トータルで何を伝えているのかも分かりづらくなっています。読み調子を語りかけ調子にしましょう。「近年」のような書き言葉がもったいない。1970年は遠い昔ですので「50年前」というほうが親切では？「本校」は放送の言葉としては違和感があります。「願います」は最適ではないと思います。あなたの願いではなく、そう願う声があるということ伝えてください。
20	C	内容が郷土の話題ではありませんし、どういう立場の人がその事業をしているのか分かりませんでした。原稿の構成ももっと工夫できるのではないのでしょうか。発声はよくできていますが、助詞を下げましょう。マスクのせいかわかりませんが、息づかいを身につけてください。「高等学校」は放送では「高校」と言います。「プロの方」だけだと、実際の授業の様子が分かりません。竹内さんではなく授業そのものに注目したほうがいいのでは？

2021年度 第42回 大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門
アナウンス部門 結果・講評一覧

番号	評価	講評など
21	B	郷土の話題ではありません。音の強弱が不安定です。全部強く読みすぎなので、もう少しやわらかく、力を抜いて読みましょう。発声はしっかりできていますが、もっと元気のいい発声を意識しましょう。また、「一で」「一く」などの文の切れ目でアナウンスが分断しています。文のかたまりを考えて読みましょう。「～はあ」「～のお」などの語尾の伸びに注意してください。練習すればいいアナウンスができるはず。自然なイントネーションを身につけましょう。 最後の文は、一部のひとにしか共感されないのでは？賛否両論渦巻いているのでは？評価が分かれている出来事を伝える場合、一つの意見にだけ偏って伝えるのは、放送のあり方として問題があります。
22	B	題材や内容は面白いのですが、ただのお店の広告になってしまっています。話題の選び方を工夫して構成を考えましょう。ご主人の思いや苦労などをしっかり取材して伝えられればもっと深みが出ると思います。一文一文が切れてしまっていて、滑舌も若干甘いです。少し息が抜けているので、もっと口を開けて、大きなアナウンスにしてください。原稿を読んでしまっているため、楽しさが伝わらないのが残念です。昭和40年は計算が面倒です。「55年前」のように言うほうが親切ですね。テレビで紹介されたということをおまじまじ放送で言う必要はありますか。音に責任を持ちたいです。発音が雑な箇所があります。
23	C	なぜこの題材なのでしょう？住之江のイベントの話をもっと早めに伝えて欲しかったです。そもそも「ラバーダック」という言葉が聞き取りにくく、「ラバーダック」と突然言われても何のことだか分かりませんでした。「～はハ、～のハ、～でハ…」とポーズを多用しすぎていて、ぶつ切れ感があります。日頃の息づかいを思い出して、話すように読むことを意識しましょう。なじみのない外国語が、1文目に二つもあるのは、ちょっと不親切だと思います。「郷土の話題」として成り立つのかどうか分かりにくい書き方になっています。大阪府内各地から集まった、このことを知らない高校生たちに伝える工夫を。
24	B	話し言葉ではなく書き言葉の原稿です。高校生にも関係した内容で題材も良いのですが、もっと伝えたいことがわかるように、キーワードを立てて読みましょう。「11月6日」のアクセントが気になりました。声に力強さが感じられず、声の幅が狭いです。聞き取りやすい声ですが、全文が同じ息づかいになっているため、一本調子で棒読み状態に陥っています。誰かに伝えることを意識してしゃべってみてください。マイクから遠い。日付から入るのが最適か。文が長すぎて分かりにくいです。音域を広く使おうとしているのは分かりました。イベントはもう終わったので「あなたも考えて」は違和感があります。最後に呼び掛けて終わること自体は否定していませんが、「怒られた」「たしなめられた」と感じさせてしまうと、なかなか素直に受け取ってもらえないかもしれません。注意が必要です。
25	奨励	よく取材できていますが、このお店はどこにある？などの疑問が残りました。必要な情報が少な過ぎです。また、原稿の構成で倒置されている部分の聞き取りが分かりにくいです。長い文の倒置は話し言葉では避けましょう。聞き取りやすい声ですが、「シャ行」などの滑舌が気になります。伝える息づかいで読んで欲しいです。落ち着いた読みで、一息しゃべりができているので、あとは思い切って声の幅を広げてみてください。「誕生しました」が浮き上がってしまいました。店主をいつ出すのが最適か？「日々の…働いています」は、ややしゃべりにくい語順ですね。最後の文も自然に話せないと思います。脳内で作文して後から声に出すのではなく、声に出しながら言葉を選んでください。
26	奨励	よく取材していて、話題も面白いです。面白い商品の紹介なので、それをリードに持っていきましょう。聞き取りやすい声ですが、所々音がくっつくので注意してください。「タナカカグ」が言いにくそうでした。丁寧に伝えようとしていて、語りの表現ができています。やや「うねり」や文末の癖があります。原稿に読まされてしまっていて、一本調子のアナウンスです。高い、低い、強い、弱い音を出し切ってください。マイクから遠かった感あり。1文目が長すぎます。「消滅」は言い過ぎでは？「開発しめて」のように、「た」で終わる文の後半の母音が横につぶれた箇所があります。「現代の」が低いのはおかしいです。最後の1文がコマーシャルになってしまいました。
27	優秀	面白い話題で、取材もよくできています。元気な内容に合った元気な明るい声で良かったです。聞き取りやすい声ですが、全体に強く読みすぎています。長い文になった時に高さが乱れ、少し早くなるので、力を抜いて読みましょう。聞き手を意識して、前にいる人に語る表現・アナウンスができていて魅力的に聞こえました。やや慌てている印象を受けたので、間を工夫できるともっと良くなります。声出し◎滑舌感◎明るさ◎です。1文目がハイテンション過ぎると思います。「いただきます」という謙譲語は違和感があります。放送で使う言葉と、日常の言葉とのすみわけをしましょう。話し言葉で伝える努力をするだけでなく、プロのラジオやテレビのニュースの言葉遣いも勉強しましょう。「お寺の方」も、放送の言葉としては不正確。「祭りなりかたもん」になりました。音に責任を持って。参加を呼び掛ける必要は無いと思います。「てはいかが」は、高校生同士の放送の言葉としては違和感があります。
28		欠席
29	奨励	身近な内容で内容的に興味を持てますが、おいしそうなお店をもっと伝えてほしかったです。もう少し構成の工夫はできますが、悪くない印象でした。「声のこもり」「語尾上げ」「区切りの音の伸び」があります。発音・発声の練習をもっとしましょう。文の途中で急に音が強くなる所があるので注意してください。アナウンスのスピードが全体に一定で、不自然です。原稿を読まずに語ってください。プロジェクトの名前は、どうしても1文目に入れる必要がありますか？「それら」は書き言葉です。雇用待遇の向上につながるのでは？事実を正確に伝える努力をしましょう。